

平成22年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定員に対する1日平均利用者数(利用率)			目標値	100%	実績値	89.7%
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	89.7%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位: )	97.0%	97.5%	97.5%				
	取組内容	※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①入退所の空白が生じないよう市のケースワーカー等と連携を強化した。 ②特別支援学級など他関係機関と連携して早めに通所希望者を募集した。 ③事業説明会を市民及び関係者に対して行った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①新規施設のすばるの利用率が上がらなかったことで大幅に実績値を下げた。引き続き利用率の増高に向けて努力をしてまいりたい。 ②高齢者施設では、依然として桜堤ケアハウスの2名部屋が長期にわたって空室となっている。この空室の解消とデイサービスの登録者数を増やす努力を継続し、利用率増高を図ってまいりたい。							
二次評価	目標未達成は残念である。新規施設すばるの影響が原因であるならば、第一段階としては利用率向上を目指すべきだが、成果が上がらない場合は事業の見直しも視野に入れること。							
②	指標名	介護保険・自立支援費等収入			目標値	710,000千円	実績値	772,076千円
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	108.7%	達成状況	未実施・未達成・ <u>達成</u>
	(単位: 千円)	578,879	599,544	732,407				
	取組内容	※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①利用者の空白期間を長く作らないようスムーズに入退所できる体制をとった。 ②施設利用の説明会を、関係機関、利用者、利用者家族に事前に行った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○障害者各施設は、すばるが新たに加わり、支援費が増えた。また大地などは90%保障が引き続きあり、自立支援費増を維持した。 ○今後はけやき、福祉作業所を中心に就労支援事業収入増を更に強化していく。							
二次評価	目標を大きく上回っての達成を評価する。引き続き収入増に努められたい。							
③	指標名	人件費率の縮小(正規職員の抑制及び臨時職員待遇改善と効果的な人事給与制度の確立)			目標値	70%	実績値	68%
	過去の実績	平成19年度	平成20年度	平成21年度	達成率	102.9%	達成状況	未実施・未達成・ <u>達成</u>
	(単位: 名) 正規職員数	71%	68%	71%				
	取組内容	※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①22年度は人事給与制度を大幅に変更する規程改正を行った。23年度から実施。 ②すばるは正規職員1名のみで他はすべて嘱託職員と臨時職員とした。 ③介護職員処遇改善助成金を原資に臨時職員・嘱託職員に特別手当を出し、引き続き、待遇を改善した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○人事給与制度の変更により確実に人件費の伸びは抑えられる制度にした。(ただし、23年度は激変緩和措置のため、大幅な人件費率縮小に至らない) それでいて、職員のモチベーションが下がらないよう、意欲のある職員は昇格等を行い、職責に応じて給与が上がる制度とした。 ○臨時職員には特別手当を処遇改善助成金を原資に年2回支給した。							
二次評価	目標達成を評価する。人が資源のサービスを提供する団体において、人件費の削減は厳しいものであることは理解するが、財政面への影響が大きいことも事実なので、今後とも緊張感を持って取り組みを進められたい。							